



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。



お知らせ & 新規募集

春の谷戸まつり 4/29(祝・土)
10:00~13:00

場所：野外生活体験広場(荒天中止)

販売コーナー 米・わら・薪・麦わら細工など
体験コーナー ノコギリ体験ほか

お椀とお箸を
ご持参ください！



谷戸塾

保全作業、観察会、農芸体験で谷戸を学びます。

★活動時間
9:30~12:00(保全作業)
13:00~14:30(講座)

オリエンテーション 4/9(日)10:00~

会場 管理棟2階 研修室

申し込み・お問い合わせはメール、
電話にて当会まで

里山探検隊

農体験や谷戸の遊びをします。

★小学生以上(会員)対象 ★活動時間 10:00~13:00
★全6回通年参加できる方

新規申し込みは4月1日よりメールにて

寒暖の差が激しい冬でした。昨年に続き雪が積もらなかったのは幸いでした（2月20日の時点）。谷戸で越冬する野鳥が少ない年でしたが、市内全般に同じ傾向です。暖かい日が続くと、植物の新芽が動きますが、すぐに寒くなるので、春の野草の花は遅れ気味です。

2月中旬からアカガエルの産卵が始まりました。今年は保護活動の成果が出始めているようで、産卵数が増えそうです。

●小段谷戸と貴重な野鳥

体験学習で使う小さな田んぼがあるのが小段谷戸です。



小段谷戸

ここは、カシラダカという小鳥の群の隠れ家です。

カシラダカ

カシラダカは、12月にシベリアから来て冬を越しますが、近年、市内では希な野鳥になっています。草の実を食べるので、緑地（森林）があっても田畠や草地がなくなると暮らせません。警戒心が強いので、人が来ると木の枝に隠れてしまいます。数十羽の群れがいるのに、誰も気づかない忍者のような鳥です。

小段谷戸は、餌場になる草地（田んぼ）と隠れ場所になる落葉樹（クリ林）が隣接しているので、カシラダカの群れが安住できるようです。来園者が少ない時は、小段谷戸から行動範囲を広げ、野外体験広場に刈り残された草の実を食べたり、人が入らない湿地で餌を食べている姿も見かけます。谷戸にはカシラダカ以外に、アオジやホオジロなど同じような生態の野鳥がいますが、きれいに（単純に）整備された公園には棲めません。草刈りによってさまざまな

野草が生育する田畠の土手、



ホオジロ・オス

適度に刈り残しのある園路や広場、藪や湿地など、里山の環境と隠れ場所の両方が必要です。谷戸が鎌倉中央公園になってから20年以上たちますが、昔と変わらずカシラダカの群れが来ています。谷戸が公園化されても里山の生きものが保全されているのは、当初の公園計画を大幅に見直して、谷戸の自然を残したことや、その後の保全活動（当会の班活動）が野鳥を守ることにつながっているのです。渡り鳥は毎年同じ場所を往来しているそうです。谷戸の環境を頼りに海を越えて来る鳥たちがいるのでしょうか。



アオジ

各班のお知らせ

田んぼ班

2023年の田んぼ班は、「地域の文化として先達から受け継いだ作業はきっちりと、かつ稻の多年草化などの新しい試みも」「みんなが作業を楽しんで、収穫量は身の丈で」のところで田んぼを守って行きたいと思います。

雑木林管理班

年明けに雑木林を調査・測定し、昨年と比較して少しずつ生長していることを確認しました。谷戸活動全体に渡って活かされる材となる木を伐採しています。春先には薪を作る計画です。



2/1 味噌作り

自然遊び班

おもちおいしかったし、だいこんおろしたのがたのしかった。(2年) きなこをつくって、きなこってだいすからできてるって、しりました。(2年) おたまじやくしのことがしれてたのしかった。(1年)

生態系保全班

オタマジヤクシの保護ネットを2021年から張り始めました。しかしカルガモの被害にあうなど、思うようにはなりませんでした。それでも試行錯誤しながら作成しました。どれだけ守れるか楽しみです。

畠班

例年ない寒さで巷では枯れた絹さやを散見するが、谷戸では霜よけ、風よけのネザサのおかげでほとんど無事だった。先人の知恵に感謝しつつ今後も谷戸ならではの栽培方法を継承できたらと思う。



1/8 雜木林の調査・測定

農芸班

3年ぶりに味噌作りを行いました。前日に6時間ほどじっくり煮込んだのくろ豆は、ほっこりと柔らかく、すり鉢すりこぎで樂につぶすことができました。米麹・谷戸米の糠と合わせて無事に仕込み終わりました。



2/19 里山探検隊

植物育成班

貴重な野草を保護するために、印を作成しました。これからは新芽が出る時期です。野草や雑草を観察していると、貴重な野草、よい雑草、やっかいな雑草の意味が分かるようになり、保全に深みを増します。

谷戸の生きもの

ツマキチョウ 「スプリング・エフェメラル」

一雨ごとに谷戸の湿地を流れる細流の水量が増え、春の訪れに心がときめく。そんなころ現れるのがツマキチョウだ。山崎の谷戸では3月下旬に出現し、通常4月下旬までには姿を消す。モンシロチョウなどといっしょに飛んでいると紛らわしいが、やや小さく、オスは前翅の先端がオレンジ色なのでこのチョウだとわかる。ただし、数はずっと少ない。晴れて風が穏やかな日中



が出会うチャンス。菜の花を次々とはしごし、なかなか止まらずによい写真を撮らせてくれないチョウでもある。私の場合、チョウを撮るときは追っかけずに、よさそうな花の前で待つことにしている。来なかったら次の花で同様に待つ。2~3時間してもダメならその日はあきらめて帰宅する。日が陰らないうちに洗濯物を取り込むためだ。

(たのくろまめお)

モモブトカミキリモドキ 「モモが太いのはオスだけ」

春の限られた期間だけ現れる甲虫の仲間。花粉を食べに花に集まる。カミキリムシに似ているので“カミキリモドキ”とついているが、この仲間（カミキリモドキ科）は有毒昆虫として知られる。体液に含まれるカンタリジンに触れると皮膚が炎症するので可愛いからとペットにするのはよそう。何故オスのモモだけ太いのかは分からぬ。メスにアピールするのか、それとも他のオスと戦うためか。もう一つ、どの個体も背中（前翅）に必ずすき間が開いている。発育不全などではないようだがその理由が分からない。リュックのファスナーを全部閉めないで歩いている人というか、キッチリ閉じろよと思うのは私だけではないはず。

(たのくろまめお)



谷戸往来

寄附をいただきました

2022年度、以下の方に寄付をいただきました。谷戸保全活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。(敬称略) 井芹美樹子 磯尾佳代子 市川由美子 宇治 香 蟻名喜代作 岡東務 岡野万里 岡村静子 奥山茂樹 早乙女千博 田中たかね 田中敏恵 藤本実太郎 本間千明 安田紀代子 山本勝久

(公財)イオン環境財団助成決定

第32回イオン環境活動助成
公募に応募した事業について採択されました。

出張冒険遊び場 2/23(祝・木)「木を楽しもう」

NPO法人かまくら冒険遊び場やまもり主催にて鎌倉市と協働で開催されました。焚火で花炭作り、生きもの観察、雑木林探検など里山の遊びが満載でした。

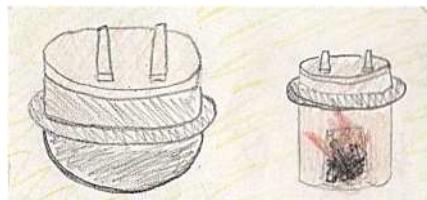


体験学習

富士塚5年 収穫祭 12/12

★わらまきがすごく楽しくて、むちゅうになりました。今までたいた白米がおいしかったです。仕事をしたあとのごはんがおいしかったです。また食べたいです。もう一回、最初からやりたいです。

★2人1組になって、切る人とわらをおさえる人がいて、れんけいプレーだなと思いました。わらをまく人は、切れたわらを花さかじいさんのように田んぼにまいてひりょうになります。



深沢小5年 収穫祭 1/13

★ぼくはごはん係をやりました。火を消さないように木や葉を入れて火をたもってました。自分たちで作ったごはんは最高でした。

★やったことは、たいひを田んぼと畑にまいて、たがやしました。たがやすときに「くわ」を使ってたがやしました。「くわ」は使うのにコツが必要でむずかしかったです。けど、そのぶんごはんがとてもおいしかったので、やったかいがありました。すべておいしかったけど、谷戸汁がとくにおいしかったです。4回くらいおかわりしました。

★雨で延期になったせいで、味噌作りはできなくなり、来年の五年生につなぐことはできなくなりました。味噌汁の担当で一番難しかったのは、味噌の分量と具を切ることです。来年の五年生もおいしくできるといいなー。



小坂小3年 収穫祭 1/13



★たいひの入ったバケツをはこぶのは、たいへんだったけど、楽しかったです。たまにバケツが二つ、三つくるので、から、手がこんがらがりました。

★一番楽しかったのは、わらを田にばらまいたことです。ばらばらのわらを、どこまでとおくへなげられるか、きょうそうしました。かぜにのってわらをなげると、けっこうとおくまでとばせます。

★麦やさつまいもができる畑のさくがこわれていたので、ササで作りなおしました。引っこぬくのもさしこむのも気持ちよくて、楽しかったです。

教育支援教室ひだまり さつまいも苗床作り 2/8

★ベッドくらいの大きい木の箱に「わら」「さつまい

ものくき」「落ち葉」「米ぬか」を重ねて箱のなかに入れていった。最後に水をかけた。最後にブルーシートをかぶせておくと醸酵して、中の温度は、どんどん上っていくらしい。外から、すでににおいがしていた。これで温度が上がった後、さつまいもを入れると芽ができるらしい。約20gのさつまいもが最終的には200gになるとか。見ていてとても面白かった。不思議だとも思った。本当にすごかったのは、落ち葉でさえも使うところだと思う。中央公園の物を使って、新しいものをつくる。本当にすごいと中央公園に行くたびに思う。(中2)



3月

- 5日（日）田 道具の手入れ ☆
畑 道具の手入れ ☆
雑 山作業道具の手入れ ☆
自 父と子の里山体験 □
「親子で伐採体験」
講座「早春の谷戸散策」☆
8日（水）植 早春の植物の観察 ♦
12日（日）田 畔・水口直し
雑 雜木林の除間伐 ♦
13日（月）畑 じゃがいもの植え付け ♦
15日（水）畑 さつまいもの洞だし・伏せ込み
19日（日）田 畔・水口直し
雑 雜木林の除間伐
22日（水）生 春の野鳥観察 ♦
26日（日）田 種粒の塩水選
雑 斧で薪割り ♦

☆ 谷戸塾 ♦ 里山一日体験
各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
(農芸班、自然遊び班は、10:00~)
□ 会員以外の方 参加費500円/組

田：田んぼ班 畑：畠班 雑：雑木林管理班
農：農芸班 自：自然遊び班
生：生態系保全班 植：植物育成班

4月

- 2日（日）田 苗床整備
雑 間伐材の活用 ♦
8日（土）田 種粒蒔き
9日（日）田 種粒蒔き ☆
雑 竹林の整備 ☆
オリエンテーション
10日（月）畑 畑の整備
12日（水）植 春の植物の観察 ♦
16日（日）田 種粒蒔き、田うない ♦
19日（水）畑 さといも畑の畝作り
生 春のチョウと鳥観察
23日（日）田 田うない ☆
24日（月）畑 さといもの植え付け ♦
29日（祝・土）春の谷戸まつり

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内
TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時
ホームページ: <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>
Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

- 次号(会報115号)は、2023年5月に発行予定
● 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647

5月

- 3日（祝・水）田 田うない
植 帰化植物の除去作業
講座「谷戸の茶摘み」☆
7日（日）田 畐草刈り、苗床草取り
10日（水）畑 畑の整備 ♦
14日（日）田 くろつけ
畑 さつまいも畑の畝作り ☆
自 こども里山一日体験 □
「さつまいもの苗植え」
17日（水）生 初夏のチョウと鳥観察
20日（土）田 くろつけ
21日（日）田 くろつけ ☆
28日（日）田 しろかき ♦
29日（月）畑 さつまいもの苗植え ☆
31日（水）畑 落花生の種蒔き ♦

